【会報】

日本熱測定学会第35回通常総会

日時：2008年10月17日（金）16:55～18:05

会場：つくば国際会議場（第44回熱測定討論会 A会場）

総会の成立：出席者91名および委任状115通（計206）により定足数168（正会員672名の4分の1）を越えており、会則第18条により総会は成立した。

1. 第34回通常総会議事録の承認

2. 2008年度事業報告（2007.10.1～2008.9.30）

(1) 会員状況

	2007.10.1	入会者	退会者	2008.9.30
名誉会員	9	2	0	11
正会員	682	47	57	672
学生会員	65	14	21	58
維持会員	39(65)	0(0)	1(1)	38(64)

() 内は維持会員口数

(2) 集会関係

- 委員会1回（札幌1回）、幹事会4回（札幌1回、東京3回）、庶務幹事会4回（札幌1回、東京3回）、会計幹事会1回（東京1回）、編集委員会5回（札幌1回、東京4回）、企画幹事会2回（東京1回、大阪1回）、広報委員会1回（札幌1回）、学会賞等選考委員会2回（東京2回）
- 第43回熱測定討論会（2007.10.1～3、札幌コンベンションセンター）発表件数 口頭発表83件、ポスター発表44件、特別講演3件、受賞講演1件、参加者200名、「北の大地」賞2件
- 第8回若手の会（2007.10.1、札幌）参加者35名
- 第6回シニアの会（2007.10.2、札幌）参加者7名
- 第34回通常総会（2007.10.2、札幌）熱測定Vol.35, No.1（2008）p.51参照
- 第44回熱測定討論会実行委員会（つくば3回）
- 第43回熱測定ワークショップ「非平衡・ゆらぎ・不均一性の熱科学」（2007.12.8、東京）参加者46名
- CATS 2008（2008.5.18～21、中国 大連）参加者201名（日本側参加者39名）
- 日本熱測定学会講演会「熱力学データの創出とその情報システムの新展開」（2008.5.23、東京）参加者31名
- 第60回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用—熱分析の基礎と高分子材料・無機材料・医薬品への応用—」（2008.2.27～28、東京）参加者56名

- 第61回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」（2008.9.10～12、大阪）参加者30名
- 第3回熱分析基礎講座：DSCの講義と講習（2008.6.30、東京）参加者12名
- ICCT 2010組織委員会（札幌1回）

(3) 共催・協賛関係

共催：第30回日本質量分析学会TMS研究部会講演会（主催：日本質量分析学会TMS研究部会，2007.12.21，東大阪）

協賛：第28回日本熱物性シンポジウム（主催：日本熱物性学会，2007.10.24～26，北海道）

協賛：第14回界面シンポジウム（主催：日本学会会議総合工学委員会ほか，2007.11.2，東京）

協賛：第48回高压討論会（主催：日本高压力学会，2007.11.20～22，鳥取）

協賛：第34回炭素材料学会年会（主催：炭素材料学会，2007.11.28～30，大分）

協賛：The 2nd International Conference on Physics of Solid State Ionics (2nd ICPSSI)（主催：第2回基礎系固体イオニクス国際会議組織委員会，2007.12.16～19，東京）

協賛：第8回GSCシンポジウム（主催：GSCネットワーク，2008.3.6～7，東京）

協賛：第56回質量分析総合討論会（主催：日本質量分析学会，2008.5.14～16，つくば）

共催：第45回日本伝熱シンポジウム（主催：日本伝熱学会，2008.5.21～23，つくば）

協賛：e-Therm 2008（主催：（独）産業技術総合研究所，2008.6.18～20，茨城）

協賛：熱電講習会（主催：日本熱電学会，2008.8.20，東京）

(4) 出版関係

会誌「熱測定」の編集・発行（Vol.34, No.5～Vol.35, No.4, 計337頁，各1,000部）

内容：巻頭言5，論文5，ノート2，特集「ソフトマター」（解説4），解説17（2007年度奨励賞受賞解説1を含む），フロギストン50，レポート11，会員のページ4，書評2，会報，その他

(5) 広報関係

英語ホームページデザインの刷新，熱測定誌バックナンバーの掲載，学会ホームページの更新

内容：学会の年間活動など

(6) グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ (主査: 辻井哲也)
 - ・メンバーの更新をし, 中別府 (明治大), 米持 (東邦大), 澤田 (メトラー・トレド), 高橋 (メトラー・トレド), 益田 (リガク) が加わった。
 - ・第60回および第61回熱測定講習会で, 意見交換及び打ち合わせをした。
 - ・第61回熱測定講習会で開催された無料公開セミナーの内容を各社 (全8社) 1ページにまとめ, 「熱測定応用研究のページ」に2社ごと掲載することを決定した。
- 2) 標準化作業グループ (主査: 加藤英幸)

定期会合 1回。第43回熱測定討論会において, 「熱機械分析装置による熱膨張率測定に関するラウンドロビントテスト」を発表。また「示差走査熱量計校正用標準物質としてのシクロヘキサンの妥当性に関するラウンドロビントテスト」(35巻2号)と「熱機械分析装置による固体物質の熱膨張測定に関するラウンドロビン試験」(35巻4号)を熱測定誌に論文発表。

第3回熱分析基礎講座: DSCとTMAの講義と演習ー熱分析機器のための標準物質と校正方法ーを実施(2008.6.30, 産総研秋葉原サイト, 参加者 12名)。

関連文献, 規格リスト等の資料整理を継続。
- 3) 標準状態圧力適正化ワーキンググループ (主査: 長野八久)
 - ・定期会合 1回
 - ・CATS2008 (大連), ICCT2008 (ワルシャワ) でポスター発表を行い, 希望者にポスターのコピーを配布した。
 - ・東京化学同人「現代化学」2008年2月号に記事「二つの“標準状態圧力”がもたらす混乱」を掲載した。別刷りを関係者に配布し, 意見をもとめた。

(7) 国際協力

- 1) IUPAC : 徂徠道夫 (阪大名誉教授) Member of the Advisory Subcommittee (Division I)
- 2) IACT : 阿竹 徹 (東工大応セラ研) Member of Board of Directors
- 3) ICTAC : 小棹理子 (湘北短大) Executive Councilor (Membership Secretary), 木村隆良 (近畿大) Affiliate Councilor, 田中春彦 (広島大名誉教授) Chairman of ICTAC Kinetics Committee
- 4) CALCON : 齋藤一弥 (筑波大院数理物質) Director, 稲葉 章 (阪大院理) Counselor

(8) 2008年度学会賞等選考報告

学会賞

- ・小國正晴 (東工大院理工) 「無秩序な分子配置系における構造緩和と秩序形成の熱的研究」
- ・木村隆良 (近畿大理工) 「微量熱量計による溶液中での分子識別に関する研究」

奨励賞

- ・飯島美夏 (長崎大教育) 「多糖物理ヒドロゲルの熱的性質」
- ・橘 信 (物材機構超伝導材料センター) 「強相関電子系遷移金属酸化物における特異な電子・磁気相図の熱力学的研究」

3. 2008 年度収支決算 (2007.10.1～2008.9.30)

[単位:円]

	予 算	決 算
収 入	10,605,251	10,988,240
(1) 会費収入	5,587,000	5,393,000
正会員	4,092,000	3,832,000
学生	195,000	201,000
維持会員	1,300,000	1,360,000
(2) 事業収入	3,770,000	4,370,246
会誌発行収入	1,950,000	2,689,029
広告料	1,600,000	2,208,150
別刷代金	100,000	226,779
購読料	250,000	254,100
第43回討論会収入	200,000	400,085
講習会収入	1,500,000	1,131,559
出版印税	120,000	149,573
(3) 雑収入	110,000	86,743
(4) 繰越金	1,138,251	1,138,251
支 出	10,605,251	10,110,575
(1) 事業費	5,342,000	5,628,419
会誌発行費	4,700,000	5,028,809
編 集		2,187,646
印 刷		2,273,607
別刷印刷		122,852
発送費		444,704
研究G・WG	30,000	36,979
WS・講演会	100,000	79,000
第44回討論会準備金	200,000	200,000
第8回若手の会	50,000	42,831
第6回シニアの会	50,000	4,800
英文プログラム	50,000	50,000
学会賞等経費	150,000	174,000
国際協力費	12,000	12,000
(2) 管理費	4,178,000	4,359,156
会議費	250,000	215,935
交通費	1,000,000	1,250,000
事務局費	2,268,000	2,268,000
HP管理費	60,000	60,000
通信費	250,000	251,190
消耗品費	200,000	202,762
雑費	150,000	111,269
(3) 予備費	1,085,251	123,000
次期繰越金	0	877,665
当期収支差額	-1,138,251	-260,586

2008 年度特別会計

熱測定特別基金	6,022,758 円
利息	15,903 円
合計	6,038,661 円

4. 2009 年度役員 (2008.10.1～2009.9.30)

○印 新任, □印 再任

会 長

稲葉 章 (阪大院理)

委 員

- 青木 宏之 (岡山理大理)
- 池内 賢朗 (アルバック理工)
- 石子貴与晃 (ブルカー・エイエックスエス)
- 市村 裕 (エスアイアイ・ナノテクノロジー)
- 一柳 優子 (横浜国大院工)
- 岩橋 祐輔 (日本サーマル・コンサルティング)
- 太田 充 (島津製作所)
- 大場 正春 (名城大農)
- 小田 究 (名古屋市工業研究所)
- 織田 昌幸 (京都府大院農)
- 河江 達也 (九大院工)
- 川上 亘作 (物質材料研究機構)
- 古賀 邦正 (東海大開発工)
- 佐藤 博 (東京理工)
- 澤田 順 (メトラー・トレド)
- 高井 茂臣 (鳥取大工)
- 高倉 洋礼 (北大院工)
- 竹ノ下逸郎 (TA インスツルメント)
- 田中 晶善 (三重大生物資源)
- 辻井 哲也 (パーキンエルマー・ジャパン)
- 土屋 雅大 (防衛大応用科学)
- 寺田 勝英 (東邦大薬)
- 西本 右子 (神奈川大理)
- 柘宜田啓史 (福岡大理)
- 林 英子 (千葉大教育)
- 平山 泰生 (リガク)
- 藤森 厚裕 (山形大工)
- 三木 久美子 (日大生産工)
- 宮崎 裕司 (阪大院理)
- 守屋 映祐 (東京大院工)
- 山室 憲子 (東京電機大理工)

会計監査

阿竹 徹 (東工大応セラ研)

幹 事

- 飯島 正徳 (企画, 武蔵工大知識工)
- 飯島 美夏 (会計, 長崎大教育)
- 大石 克嘉 (会計, 中央大理工)
- 神山 匡 (企画, 近畿大理工)
- 京免 徹 (庶務, 群馬大院工)
- 齋藤 一弥 (編集, 筑波大院数理物質)
- 猿山 靖夫 (編集, 京都工繊大院工芸科学)
- 武田 清 (庶務, 鳴門教育大自然)
- 藤澤 雅夫 (企画, 近畿大生物理工)
- 藤森 裕基 (企画, 日大文理)
- 山村 泰久 (広報, 筑波大院数理物質)

2009 年度編集委員会 (2008.10.1 ~ 2009.9.30)

- 印 新任, □印 再任

編集委員

- 齋藤 一弥 (筑波大院数理物質)「物性物理化学」, 幹事
- 猿山 靖夫 (京都工繊大院工芸科学)「高分子」, 幹事
- 有田 裕二 (名大エコトピア研)「無機物質」
- 内山 進 (阪大院工)「生物熱力学」
- 小川 英生 (東京電機大理工)「溶液」
- 神崎 亮 (九大院理)「溶液錯体」
- 宮崎 裕司 (阪大院理)「物性化学」
- 米持 悦生 (東邦大薬)「医薬品」

拡大編集委員

- 清野 肇 (北大院工)「無機材料」
- 古賀 信吉 (広島大教育)「無機」
- 武田 清 (鳴門教育大自然)「溶液・ガラス」
- 橘 信 (物質材料研究機構)「固体物性」
- 中澤 康浩 (阪大院理)「固体物性」
- 松本 里香 (東京工芸大工)「無機」

2009 年度広報委員会 (2008.10.1 ~ 2009.9.30)

- 山村 泰久 (筑波大院数理物質) 幹事
- 川路 均 (東工大応セラ研)
- 清水 由隆 (産総研)
- 中澤 康浩 (阪大院理)
- 橋本 拓也 (日大文理)
- 林 英子 (千葉大教育)
- 八尾 晴彦 (京都工繊大院工芸科学)

5. 2009 年度事業計画 (2008.10.1 ~ 2009.9.30)

(1) 集会関係

- 1) 委員会 1 回 (つくば 1 回), 幹事会 4 回 (つくば 1 回, 東京 3 回), 庶務幹事会 4 回 (つくば 1 回, 東京 3 回), 編集委員会 5 回 (つくば 1 回, 東京 4 回), 会計幹事会 1 回 (東京 1 回), 企画幹事会 2 回 (東京 1 回, 大阪 1 回), 広報委員会 1 回 (つくば 1 回), 学会賞等選考委員会 2 回 (東京 2 回)
- 2) 第44 回熱測定討論会 (2008.10.16 ~ 18, つくば国際会議場)
- 3) 第9 回若手の会 (2008.10.16, つくば) 参加者 58 名
- 4) 第7 回シニアの会 (2008.10.16, つくば) 参加者 12 名
- 5) 第35 回通常総会 (2008.10.17, つくば)
- 6) 第45 回熱測定討論会実行委員会 (東京 5 回)
第45 回熱測定討論会 (2009.9.28 ~ 30, 八王子) 実行委員長: 吉田博久
- 7) 第62 回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(2009.3.4 ~ 5, 東京)
- 8) 第63 回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(2009.9, 大阪)
- 9) 第44 回熱測定ワークショップ「無機材料における熱測定・熱分析」(2008.11.30, 横浜)
- 10) 第4 回熱分析基礎講座 (2009.6 を予定, 東京近郊)
- 11) ICCT-2010 組織委員会 (2008.10.16, つくば 1 回, 他適宜)
- 12) ワークショップ テーマ・オーガナイザーを募集
- 13) 講演会 テーマ・オーガナイザーを募集

(2) 共催・協賛関係

- 共催: 第29 回日本熱物性シンポジウム (主催: 日本熱物性学会, 2008.10.8 ~ 10, 東京)
- 共催: The Fourth International Symposium on the New Frontiers of Thermal Studies of Materials (主催: The Fourth International Symposium on the New Frontiers of Thermal Studies of Materials 組織委員会, 2008.11.30 ~ 12.2, 横浜)
- 協賛: 第22 回日本吸着学会研究発表会 (主催: 日本吸着学会, 2008.10.24 ~ 25, 福岡)
- 協賛: 第15 回界面シンポジウム (主催: 日本学術会議材料工学委員会ほか, 2008.10.29, 東京)
- 協賛: 第49 回高圧討論会 (主催: 日本高圧力学会, 2008.11.12 ~ 14, 姫路)
- 協賛: 第51 回自動制御連合講演会 (主催: 計測自動制御学会ほか, 2008.11.22 ~ 23, 米沢)
- 協賛: 第35 回炭素材料学会年会 (主催: 炭素材料学会,

2008.12.3～6, 東京)

協賛：IUMRS-ICA2008（主催：日本MRS, 2008.12.9～13, 名古屋）

(3) 出版関係

会誌「熱測定」の編集・発行（Vol.35, No.5～Vol.36, No.4, 各1,000部）

会員名簿の発行

「熱量測定・熱分析ハンドブック」（丸善, 1998年刊）の改訂・増補作業（2010年刊行予定）

(4) 広報関係

学会ホームページの更新

内容：学会の年間活動、熱測定誌の目次とアブストラクト、学会頒布物、維持会員リスト、学会カレンダー、関連学協会へのリンク、用語集など

(5) グループ活動

1) 熱測定応用研究グループ（主査：小川英生）

- ・年2回の熱測定講習会で、意見交換及び打ち合わせをする。
- ・第61回熱測定講習会で開催された無料公開セミナーの内容を各社（全8社）1ページにまとめ、「熱測定応用研究のページ」に2社ごと掲載を予定する。
- ・「熱測定応用研究のページ」への投稿を呼びかける。

2) 標準化作業グループ（主査：古賀信吉）

- ・定期会合 1回。「熱機械分析装置による熱膨張率測定に関するラウンドロビンテスト」と「温度校正用標準物質（低温域）評価のラウンドロビンテスト」を必要に応じて継続する。ラウンドロビンテストも含めた新たな標準化作業の企画を検討する。熱分析基礎講座を継続し、第4回目を企画・実施する。関連文献、規格リスト等の資料整理を継続。

3) 標準状態圧力適正化ワーキンググループ（主査：長野八久）

- ・定期会合 1回
- ・標準状態圧力問題が、化学熱力学の教育・研究に関わるものに広かつ正しく認知されるように啓蒙活動を続ける。

(6) 国際協力

- 1) IUPAC：徂徠道夫（阪大名誉教授）Member of the Advisory Subcommittee (Division I)
- 2) IACT：阿竹 徹（東工大応セラ研）Member of Board of Directors
- 3) ICTAC：小棹理子（湘北短大）Executive Councilor (Membership Secretary), 木村隆良（近畿大）Affiliate Councilor
- 4) CALCON：齋藤一弥（筑波大院数理物質）Director, 稲葉 章（阪大院理）Counselor

6. ICCT-2010 準備金の特別会計からの支出について

稲葉会長から、ICCT-2010 実行委員会より開催準備金として熱測定学会の特別会計から支出の申し出があったことが報告された。特別基金運用細則が示された上で、同細則の第1条に基づいた使途であることが説明された。最終的に稲葉会長から今年度200万円を限度として支出することが提案され、承認された。

特別基金運用細則

第1条（基金の目的）

この基金は、本学会が目的達成のために実施する事業のうち、会則第4条3項に関し、本学会が主催団体として日本国内で開催する国際会議で特別に補助が必要である場合に、事業の責任者に対して支出するためのものである。

第2条（支出の決定）

第1条に関して支出の可否、及びその金額は総会が決定する。

第3条

第2条に基づき補助を受けた場合は、事業責任者は事業終了後速やかに幹事会に活動報告（会計報告を含む）をしなければならない。

第4条

第1条以外で、本学会の運営上特別に本基金からの補助が必要な場合は、その可否及び金額を幹事会で決定し、総会で承認を受ける。

7. 2009 年度収支予算 (2008.10.1 ~ 2009.9.30)

[単位：円]

予 算	
収入	10,843,665
(1) 会費収入	5,486,000
正会員	4,032,000
学生会員	174,000
維持会員	1,280,000
(2) 事業収入	4,370,000
会誌発行収入	2,350,000
広告料	2,000,000
別刷代金	100,000
購読料	250,000
第44 回討論会収入	0
講習会収入	1,500,000
出版印税	120,000
名簿発行収入	400,000
(3) 雑収入	110,000
(4) 繰越金	877,665
支出	10,843,665
(1) 事業費	5,892,000
会誌発行費	4,700,000
研究G・WG	30,000
WS・講演会	100,000
第45 回討論会準備金	200,000
第9 回若手の会	50,000
第7 回シニアの会	50,000
英文プログラム	50,000
学会賞等経費	150,000
国際協力費	12,000
名簿発行費	550,000
(2) 管理費	4,228,000
会議費	250,000
交通費	1,250,000
事務局費	2,268,000
HP 管理費	60,000
通信費	250,000
消耗品費	200,000
会長選挙管理費	50,000
雑費	150,000
(3) 予備費	473,665
次年度繰越	0
当期収支差額	- 877,665

2009 年度特別会計 [単位：円]	
熱測定特別基金	6,038,661 円
ICCT-2010 準備金	- 2,000,000 円
合計	4,038,661 円

8. 名誉会員の推戴

高橋洋一会員ならびに村上幸夫会員を名誉会員に推戴し、名誉会員証を授与した。

9. 学会賞・奨励賞授与式

小國正晴会員ならびに木村隆良会員の学会賞授与式、飯島美夏会員ならびに橘 信会員の奨励賞授与式が行われ、賞状と記念の楯が贈られた。

10. その他

- ・第46 回熱測定討論会について
田中晶善会員を実行委員長として、三重大で開催されることが報告された。
- ・2009 年度学会賞等の公募について
2009 年度の学会賞等の公募について案内された。応募締め切りは4 月末日である。
- ・ICCT-2010 の準備状況について
阿竹組織委員長から、ICCT-2010 の準備状況について報告があった。
- ・15th ICTAC について
15th ICTAC (2012 年) が大阪で開催されることが決定したことについて、木村隆良会員から報告があった。
- ・その他の国際会議について
CALCON とのジョイントミーティングの予定があること、2011 年にCATS が日本で開催されることが報告された。
- ・「熱測定・熱分析ハンドブック」の改訂について
「熱測定・熱分析ハンドブック」の改訂が予定されており、編集委員会が組織されたことが報告され、会員各位に執筆等での協力が要請された。
- ・熱測定講習会について
周囲への講習会参加呼びかけに対する協力が要請された。